



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 河野 和晃

TEL 03-5338-8238

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,488	△6.0	1,453	2.5	1,784	△5.1	1,262	335.3
2019年3月期第3四半期	64,328	△1.8	1,417	△23.2	1,879	△13.2	290	△84.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 699百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	80.11	—
2019年3月期第3四半期	17.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	75,200	41,416	55.1	2,633.70
2019年3月期	74,891	41,763	55.8	2,620.91

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 41,416百万円 2019年3月期 41,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△0.8	1,700	21.2	2,100	4.8	1,900	461.9	120.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 阿基里斯(佛山)新型材料有限公司

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	15,862,714 株	2019年3月期	16,762,714 株
2020年3月期3Q	137,176 株	2019年3月期	827,959 株
2020年3月期3Q	15,762,161 株	2019年3月期3Q	16,629,282 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東情勢の緊迫化など先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、雇用環境の改善などにより緩やかな景気回復基調が継続した一方で、消費税率の引き上げや天候不順、世界経済の不確実性の影響が懸念される状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 60,488 百万円(前年同四半期比 6.0%減)、営業利益 1,453 百万円(前年同四半期比 2.5%増)、経常利益 1,784 百万円(前年同四半期比 5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,262 百万円(前年同四半期比 335.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズは「n☆p school (ニコ☆プチスクール)」、および走れるカジュアルシューズ「SLBY SYUNSOKU (エスエルバイ シュンソク)」は市場より高い評価を得られましたが、子供靴市場の競争激化により前年売上を下回りました。また、世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS (ブルックス)」の日本国内販売を開始し、当社の独自開発素材を搭載した“走るリカバリーシューズ”「MEDIFOAM (メディフォーム)」とともにランニング市場への参入を加速させましたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 8,861 百万円(前年同四半期比 10.7%減)、セグメント損失(営業損失)は 629 百万円(前年同四半期はセグメント損失 688 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車体内装用資材は、世界的な自動車マーケット減速の影響を受け、国内外とも前年売上を下回りました。

フィルムは、医療用は北米で好調に推移しましたが、その他の用途で苦戦し、前年売上を下回りました。農業分野は、台風被害と暖冬の影響で需要が低迷し、前年売上を下回りました。

建装資材は、消費税率引き上げ後の市況低迷の影響がありましたが、前年並みの売上となりました。

引布商品は、米国向けポットが苦戦しましたが、官公庁向けのエアータント・ゴムポットの納入が増加し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 28,366 百万円(前年同四半期比 8.5%減)、セグメント利益(営業利益)は 2,300 百万円(前年同四半期比 8.1%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、車輛・雑貨用などは好調に推移しましたが、全体としてはほぼ前年並みの売上となりました。

断熱資材は、システム製品が倉庫等建築物向けで好調に推移しましたが、ボード製品は建築向け、パネル製品は畜産向け、スチレン製品はブロックで苦戦し、断熱資材全体では前年売上を下回りました。

工業資材は、北米、アジア向けシリコンウエハー搬送用部材の輸出が減少しましたが、ほぼ前年並みの売上となりました。

産業資材事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高23,261百万円(前年同四半期比0.6%減)、セグメント利益(営業利益)は1,674百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は75,200百万円で前連結会計年度末に比較して309百万円増加しました。

資産の部では、流動資産は45,738百万円となり前連結会計年度末に比較して329百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,841百万円、電子記録債権が793百万円減少しましたが、現金及び預金が1,919百万円、商品及び製品が505百万円、原材料及び貯蔵品が418百万円増加したことによります。固定資産は29,462百万円となり前連結会計年度末に比較して20百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が409百万円増加しましたが、繰延税金資産が243百万円、退職給付に係る資産が218百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は25,515百万円となり前連結会計年度末に比較して839百万円増加しました。これは主に、未払金が526百万円減少しましたが、短期借入金が892百万円、支払手形及び買掛金が369百万円増加したことによります。固定負債は8,268百万円となり前連結会計年度末に比較して183百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が156百万円減少したことによります。

純資産の部は41,416百万円となり、前連結会計年度末に比較して347百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が625百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が412百万円、自己株式の取得により409百万円、退職給付に係る調整累計額が160百万円減少したことによります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,874百万円減少しております。以上の結果、自己資本比率は55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響については想定が困難なため、本業績予想には反映していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,209	7,128
受取手形及び売掛金	21,760	19,918
電子記録債権	4,390	3,596
商品及び製品	9,144	9,650
仕掛品	1,504	1,740
原材料及び貯蔵品	2,068	2,487
その他	1,395	1,240
貸倒引当金	△62	△23
流動資産合計	45,409	45,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,154	8,585
機械装置及び運搬具（純額）	5,883	5,963
土地	4,180	4,177
建設仮勘定	462	385
その他（純額）	659	637
有形固定資産合計	19,341	19,750
無形固定資産	297	328
投資その他の資産		
投資有価証券	3,613	3,536
退職給付に係る資産	3,193	2,975
繰延税金資産	2,364	2,121
その他	726	828
貸倒引当金	△54	△77
投資その他の資産合計	9,843	9,383
固定資産合計	29,482	29,462
資産合計	74,891	75,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,658	13,028
電子記録債務	3,017	3,090
短期借入金	2,228	3,120
未払金	2,379	1,852
未払法人税等	269	183
その他	4,123	4,240
流動負債合計	24,676	25,515
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
繰延税金負債	373	336
退職給付に係る負債	4,636	4,479
資産除去債務	381	392
P C B廃棄物処理引当金	41	41
その他	18	18
固定負債合計	8,451	8,268
負債合計	33,128	33,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	6,712	4,838
利益剰余金	20,364	20,989
自己株式	△1,749	△285
株主資本合計	39,967	40,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	800
繰延ヘッジ損益	49	13
為替換算調整勘定	7	△404
退職給付に係る調整累計額	985	824
その他の包括利益累計額合計	1,796	1,233
純資産合計	41,763	41,416
負債純資産合計	74,891	75,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	64,328	60,488
売上原価	50,992	47,715
売上総利益	13,335	12,772
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,551	4,362
広告宣伝費及び販売促進費	787	689
貸倒引当金繰入額	△18	△8
給料手当及び福利費	4,196	4,102
退職給付費用	201	84
旅費交通費及び通信費	468	443
減価償却費	173	98
その他	1,557	1,547
販売費及び一般管理費合計	11,918	11,319
営業利益	1,417	1,453
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	64	56
持分法による投資利益	163	155
為替差益	23	—
不動産賃貸料	58	62
その他	220	133
営業外収益合計	533	420
営業外費用		
支払利息	24	29
為替差損	—	7
支払補償費	8	20
その他	37	31
営業外費用合計	71	89
経常利益	1,879	1,784
特別利益		
固定資産売却益	1	37
投資有価証券売却益	108	12
保険差益	9	5
特別利益合計	119	55
特別損失		
固定資産売却損	5	0
減損損失	1,214	—
固定資産除却損	79	67
特別損失合計	1,299	67
税金等調整前四半期純利益	699	1,771
法人税、住民税及び事業税	339	240
法人税等調整額	70	268
法人税等合計	409	508
四半期純利益	290	1,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	290	1,262

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	290	1,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△499	48
繰延ヘッジ損益	189	△36
為替換算調整勘定	△78	△338
退職給付に係る調整額	△17	△160
持分法適用会社に対する持分相当額	△52	△74
その他の包括利益合計	△457	△562
四半期包括利益	△167	699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	699
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	9,925	31,001	23,401	64,328	—	64,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114	472	587	△587	—
計	9,925	31,116	23,873	64,915	△587	64,328
セグメント利益又は 損失(△)	△688	2,504	1,507	3,323	△1,906	1,417

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,906百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シューズ事業」セグメントにおいて、競合他社との競争激化により継続して営業利益がマイナスとなり、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,214百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	8,861	28,366	23,261	60,488	—	60,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100	456	556	△556	—
計	8,861	28,466	23,717	61,045	△556	60,488
セグメント利益又は 損失(△)	△629	2,300	1,674	3,345	△1,892	1,453

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,892百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。